

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 3631
16年2月26日(金)
・Fax 095-828-1953

16春闘を全力で闘おう!

おはようございます。

「2016全労協西日本春闘討論集会」が、2月20日、21日に大阪で開催され、長中支部からも参加しました。大阪を中心に西日本各地から多くの仲間が参加、16春闘を仲間と共に連帯して闘うことを再確認できた討論集会でした。

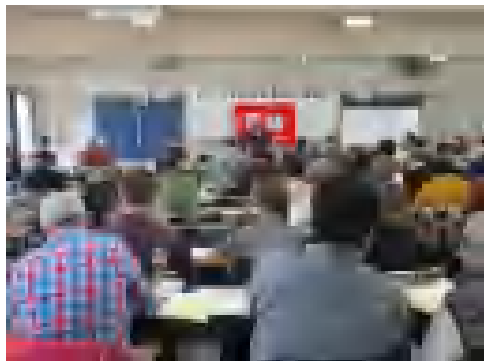
開催にあたり、大阪全労協議長の福田さんより、雨模様の天気の中、集会に参加していただいたことへの感謝と慰労の挨拶を受けて始まりました。

労働法制改悪や非正規労働者の均等待遇、夏の参議選に向けた取り組みなど重要課題を多く抱える今春闘を、闘いの方針と分科会を含めた問題提起を活発な論議で、仲間と共に全力で闘うことを全体で確認する場として戴きたいと、集会の意義を訴えました。

そして、引き続き全労協本部事務局長の中岡さんより、全労協春闘方針が提起

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。めざせ、均等待遇。なくそう差別！ユニオンは労働法裁判に勝利するぞ！



されました。

国内外情勢として、シリアやフランスなどで多発しているテロによる紛争では、多くの一般市民が犠牲となり、これによって憎悪の再生産を生み武力による解決はあり得ない。そのほか、アメリカ、中国、ロシアといった国際政治の不安定要素が多く発生し広がっている状況にある。

国内では、安倍政権による立憲主義を踏みにじる、戦争法の強行採決と、さらに、憲法改正を自論み、戦前回想を思わせる戦争できる国づくりの状況下で、労働組合がどのような闘いでこれらと対峙していくのか真が問われる16春闘だ。

夏の参議選勝利等々、全労協の枠を超えたたたかひの重要性を提起されました。

引き続き分科会が
賃金闘争：最賃闘争分科会
代表的報告 全国一般の中での典型的闘い最賃闘争の報告
争議交流：労働委員会の傾向と闘い方
代表報告(きょうとユニオン) IWAJ分会(京都ユニオン)
非正規の闘い：労働法訴訟当該からの報告(郵政ユニオン、全日建、ゼネラルユニオン)

の3テーマに別れ開催されました。

どの分科会もケーススタディが行なわれ
自分が責任者なら、どのような方針、取り組みを組むのか？

その闘いの背景、条件、労働者の意識、会社側の意識、個人の性格、会社を取り巻く地域共闘や環境は？

それらを分析し、誰がリーダーでも、勝利に持つにける力量を付けるには？

など実践に即した議論が行なわれました。

支部からは「非正規の闘いと労働法訴訟の闘い」の分科会に参加しました。

各職場とも、郵政と同じく契約社員に対する差別と不安定雇用をはじめとした不利益待遇など悪条件のもと働いている。働かざるを得ない現状が報告されました。郵政ユニオンからは「郵政20条裁判」と苦情処理等による闘いの報告を行ないました。各労組 職場での現状を元に、闘いに向けた方向性が議論されました。

夕方から行われた交流会では、郵政の仲間のほか、長崎では交流することの少ない異業種の仲間と交流、議論することが出来、有意義な交流会となりました。

二日目は、まず初日の各分科会報告が行なわれました。

続いて「これからの労働組合を担う」をテーマに、全労協青年委員会から講演がありました。

全労協では、一昨年より青年委員会の活動を活発に行なっています。しかしながら郵政ユニオンからは役員クラスの参加が多く若手の参加が少ないのが現状です。

講演を青年委員会が「これからの労働組合を担う」をテーマに行なう予定です。支部をはじめとして郵政ユニ



オンの各地区から青年の参加を促した労組の青年と交流することが組織の強化拡大につながると思った集会でした。

来年予定されている広島集会には、多くの青年を参加させたいと考えます。

今後の行動予定

- 2月29日：本社前院内集会
- 3月1日：3・1ビキータ集会・2016春闘勝利長崎地区総決起集会(中町公園 18時)
- 3月5日：春闘団結ボリング(大橋町ラッキーホール 18時半)